

2023年4月28日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社ハッチ・ワークに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社ハッチ・ワーク（代表取締役社長：増田 知平）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社ハッチ・ワークについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 月極駐車場管理のデジタル化による業務の効率化、駐車場の遊休スペースの有効活用

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

② 在宅勤務の整備等による多様な働き方の推進を通じた従業員の働きがいの向上

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。
------------------------	---

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



月極駐車場管理業務の DX 化を推進することでモビリティプラットフォームを構築し、CASE を推進



EV 基礎充電サービス付きの月極駐車場をモデル化することで EV 普及に貢献、持続的かつ環境に配慮した事業活動を推進



性別、国籍、年齢、障がい等に関わらず、従業員一人一人が活躍し成長でき、ウェルビーイングを考慮した職場環境作りを推進

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上